

ポートフォリオシステム（学習・教育支援サイト） の第3期システム更新

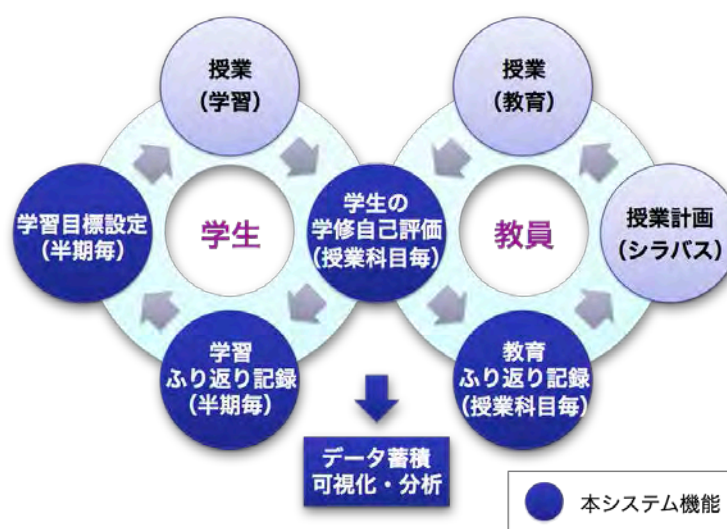
著者	星野 聡孝
引用	学術情報センター年報 情報. 23, p.31-33
URL	http://hdl.handle.net/10466/15633

ポートフォリオシステム（学習・教育支援サイト）の第3期システム更新

高等教育推進機構 星野 聡孝

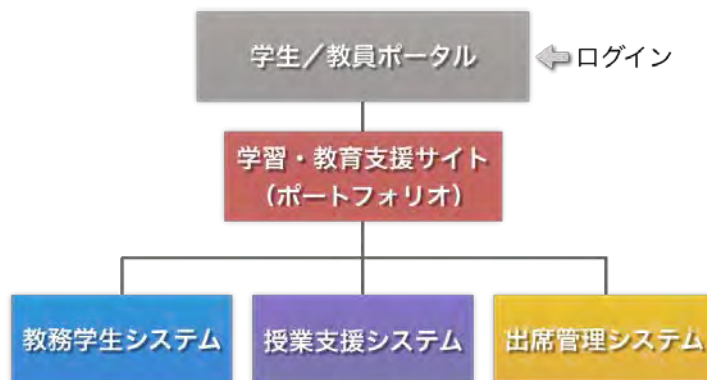
1. はじめに

本学のポートフォリオシステムは、学習と教育の自己改善を支援するためのシステムとして学内小委員会で仕様が策定され、2012年度より運用が始まった。その基本となる仕組みは、下図のようにまとめられる。



学生は、半期ごとに学習目標や振り返り（「授業振り返り」、「半期振り返り」）を入力し、成績も含めて、そこに蓄積・可視化された様々なデータから、自分の学びについての気づきを得られるようになっている。また、教員は、受講生の学びの自己評価データから気づきを得て教育改善に繋げることができるようになっている。

また、本システムは「学習・教育支援サイト」という名称で運用しており、授業支援システム・出席管理システムや教務学生システムを授業単位で繋ぎつつ、本学での学習・教育に関するポータルサイトの役割を果たしている。

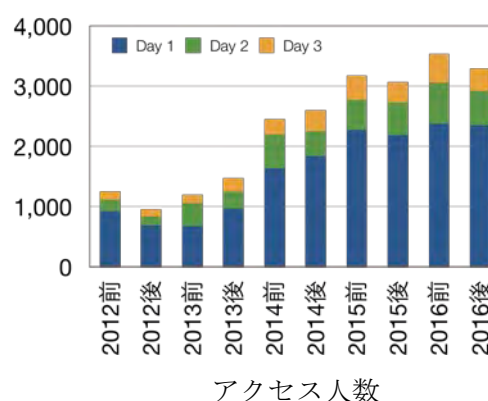
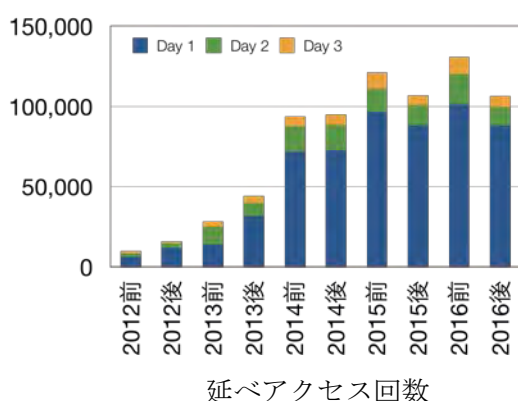


本稿では、これまでのシステム運用状況について簡単に触れたのち、第3期システムにおける改善点・変更点について紹介する。

2. 第2期システムでの運用状況

本システムは、2012年の運用開始以降、いくつかの機能追加を行ってきた。2013年には、授業科目以外で授業支援システムを使うための「プロジェクト科目」を、学習・教育支援サイト上に表示するようにし、ユーザの利便性向上を図った。また、2015年には、「授業ふり返し」を授業内で簡単に実施できるよう、QRコードの出力機能を追加した。

この間、利用者は順調に増え、例えば、本システムへのアクセスがもっとも多くなる前期・後期成績発表日以降3日間の延べアクセス回数、アクセス人数は、下図のように順調に伸びている。



一方、いくつかの課題も見えてきた。一つは、学生による「半期学習目標」「ふり返し」の入力率が必ずしも高くないことである。また、近年では学生のほとんどが所有している

スマートフォンに対して、一部の画面出力しか最適化されておらず、ユーザビリティの点から改善の余地があった。そこで、今回のシステム更新にあたっては、これらへの対応を中心に行うこととした。

3. 第3期システム

第3期のポートフォリオシステムは、仮想マシン上に構築した点が従来と大きく異なる。ただ、サーバの構成自体は従来と同様であるので、ここでは詳細は割愛する。

機能面では、先に述べた課題への対応を行った。まず、学生が受講科目毎に入力する「授業ふり返り」について、項目数が多く入力に時間がかかるといった声を受け、項目数を減らすとともに、一部の質問項目を変更した。これにより学生の負担感が減り、入力率向上に繋がるものと期待される。

また、すべての学生用画面を、スマートフォン向けに最適化表示（レスポンシブデザイン対応）するよう変更した。PC画面をスマートフォンで表示するのと比べ、はるかに視認性が高くなるため、学生にとって、より使いやすいシステムになったと思われる。



PC画面



スマートフォン画面

なお、第3期システムでは、スマートフォンでアクセス可能な SSID (OPU-Learning) が全学無線 LAN に追加された。ポートフォリオシステム (学習・教育支援サイト) と授業支援システムのみ接続可能という制約はあるものの、携帯キャリアの電波が届きにくい教室でも、学生はスマートフォンで両システムにアクセスすることができる。授業の中で学生に「授業ふり返り」の入力をしてもらおうことも、従来以上に容易となったので、是非、活用していただきたい。